

平成18年度学校法人近畿大学弘徳学園事業報告

I、学園の概要

(1) 基本方針

平成16年4月、学校法人近畿大学弘徳学園は、学校法人近畿大学から分離独立し、それを契機に懸案であった新設の四年制大学（看護学部）の開設に向けて、本格的な準備に入ることとなった。

そして、平成16年6月頃から、学校法人賢明女子学院（姫路市本町）と同短期大学大塩キャンパス（姫路市大塩町2042-02）の買収に関して、断続的に交渉を行ってきた。当事者間の交渉は、決して順調なものではなく、一時は断念しようかという局面もあったが、大学設置計画を具体化し得るぎりぎりの、平成17年10月29日に「不動産売買契約」を締結するに至ったのである。

以来、新しい大学・学部学科の設置計画を具体化すべく、校地・校舎・設備・図書・標本及び教員組織等々について、文部科学省との事前協議に入るとともに、新設大学の校名を「近大姫路大学」（仮称）とすること、また、看護学部看護学科の入学定員を100名とすること等の試案を平成18年2月25日開催の評議員会及び理事会へ提案し、原案通り議決された。それを受け、文部科学省へ「大学設置認可申請書」及び「寄附行為変更認可申請書」を同年4月に提出した。

他方、平成18年4月24日、大塩キャンパスにおいて、地鎮祭を執り行い、看護学部棟（鉄筋コンクリート造5階建）の建築に着工することとなった。

その後、文部科学省におけるヒヤリング及び委員の2回にわたる現地視察を経て、同年11月30日「近大姫路大学看護学部看護学科（入学定員100名）」の認可を受けたのである。近大姫路大学の校舎建築も順調に進捗し、平成19年2月末には完成をむかえ、学校法人近畿大学弘徳学園へ引渡されたのである。

※そして、平成19年4月1日には、近大姫路大学看護学部看護学科の開学・入学式を行う予定である。

近大姫路大学を開設するにあたり、上田理事長によって、建学の精神を具現化するための教育目標が示された。

近大姫路大学は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある。」を建学の精神とし、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目標とする。そして、この目的を具現化するために次のような教育目標をかかげ、その実現に向けて教職員一体となって尽力するものとされた。

1. 人間は人間だけで生きているものではなく、自然のなかで他の生命とともに、生かされているという認識をもつとともに、その思想を実践する力を培う。
2. 専門職業人としての基本的な倫理観を養うとともに、他人を思いやる心を培う。
3. 専門職に必要な基礎的知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
4. 社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う。
5. 国際社会に適応しうる感性を育むとともに、異文化を理解しうる力を培う。

(2) 学校法人の沿革

昭和 26 年 2 月 校学校法人近畿大学認可

昭和 42 年 1 月 近畿大学豊岡女子短期大学設置認可（家政科）

昭和 44 年 3 月 近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部設置認可（家政科）

昭和 46 年 1 月 近畿大学豊岡女子短期大学幼稚教育科設置認可

昭和 47 年 1 月 近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部幼稚教育科設置認可

昭和 48 年 1 月 近畿大学豊岡女子短期大学児童教育学科設置認可

昭和 48 年 3 月 近畿大学豊岡女子短期大学幼稚教育科を廃止

昭和 55 年 2 月 近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園設置認可

昭和 61 年 10 月 近畿大学豊岡女子短期大学家政科を家政学科に改称

平成 元年 4 月 近畿大学豊岡女子短期大学を近畿大学豊岡短期大学に名称変更
近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園を
近畿大学豊岡短期大学児童研究所附属幼稚園に名称変更

平成 3 年 4 月 近畿大学豊岡短期大学家政学科を生活情報学科に改称
近畿大学豊岡短期大学児童教育学科を幼稚教育学科に改称

平成 4 年 4 月 近畿大学豊岡短期大学通信教育部家政学科を生活情報学科
近畿大学豊岡短期大学幼稚教育科を幼稚教育学科に改称
近畿大学豊岡短期大学児童教育研究所附属幼稚園を
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園に名称変更

平成 13 年 4 月 近畿大学豊岡短期大学生活情報学科を生活情報・福祉学科に改称
◆ ◆

平成 15 年 3 月 学校法人近畿大学弘徳学園 設立準備委員会

平成 15 年 3 月 学校法人近畿大学理事会・評議員会
(豊岡短期大学と同附属幼稚園の法人分離と寄附について)

平成 15 年 6 月 学校法人近畿大学弘徳学園 設立発起人会

平成 15 年 6 月 学校法人近畿大学弘徳学園 寄附行為認可申請並びに設置者変更申請

平成 15 年 11 月 学校法人近畿大学弘徳学園 寄附行為認可並びに設置者変更認可

平成 15 年 12 月 学校法人近畿大学弘徳学園の法人登記

平成 16 年 4 月 学校法人近畿大学弘徳学園設立記念式典

平成 17 年 4 月 近畿大学豊岡短期大学幼稚教育学科をこども学科に改称

平成 17 年 4 月 近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科収容定員変更届認可

平成 17 年 5 月 私立学校法改正に伴う寄附行為変更届認可

平成 18 年 11 月 近大姫路大学看護学部看護学科設置認可並びに寄附行為変更申請認可

(3) 設置する学校、学部、学科等

[1] 近畿大学豊岡短期大学

〒668-8580 兵庫県豊岡市戸牧160番地
通学課程 生活情報・福祉学科 (平成19年度 学生募集停止予定)
こども学科

通信教育部 生活情報・福祉学科 (平成19年度 学生募集停止予定)
こども学科
社会福祉士養成通信課程

[2] 近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

〒668-8580 兵庫県豊岡市戸牧160番地
3歳児、4歳児、5歳児

[3] 近大姫路大学 (平成19年度4月開学予定)

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042-2
看護学部 看護学科

II、事業の概要

(1) 平成18年度 学年暦

学校法人近畿大学弘徳学園の平成18年度は、下記のような行事を行いました。

4月3日(月)	平成18年度 入学式
4月4日(火) ~ 4月5日(水)	オリエンテーション・健康診断
4月11日(火)	幼稚園 1学期 始業式
4月12日(水)	平成18年度 入園式
4月22日(土) ~ 4月23日(日)	新入生歓迎会(フレッシュマンキャンプ)
4月24日(月)	近大姫路大学(仮称)地鎮祭
5月18日(木) ~ 5月21日(日)	学務併修校Ⅰ期スクーリング
7月8日(土) ~ 7月9日(日)	公開講座リサイタル「池上英樹マリンバリサイタル」
7月19日(水)	幼稚園 1学期 終業式
7月22日(土)	前期授業終了
7月23日(日) ~ 9月19日(火)	夏期休暇
7月27日(木) ~ 8月12日(土)	夏期スクーリング、預り保育
8月4日(金) ~ 8月10日(木)	社会福祉士養成通信課程スクーリング (前期)
8月18日(金) ~ 8月24日(木)	社会福祉士養成通信課程スクーリング (後期)
8月20日(日) ~ 8月22日(火)	学務併学校スクーリング
8月24日(木) ~ 8月27日(日)	学務併修校Ⅱ期スクーリング
8月29日(火) ~ 9月1日(金)	学務併修校Ⅲ期スクーリング
9月1日(金) ~ 9月2日(土)	幼稚園 5歳児 宿泊保育
9月4日(月)	幼稚園 2学期 始業式
9月4日(月) ~ 9月7日(木)	学務併修校Ⅳ期スクーリング
9月20日(水)	防火・防災訓練
9月21日(木)	後期授業開始
10月 ~	公開講座開講
10月7日(土)	幼稚園運動会
10月8日(日) ~ 10月9日(月)	大学祭
10月28日(土) ~ 11月26日(日)	秋期スクーリング
10月31日(火)	社会福祉士養成通信課程 IV期生修了
11月5日(日)	創立記念日
12月2日(土)	幼稚園 生活発表会
12月23日(土) ~ 1月10日(水)	冬期休暇
12月22日(金)	幼稚園 2学期 終業式
1月10日(水)	幼稚園 3学期 始業式
3月3日(土)	平成18年度 卒業式
3月14日(水)	平成18年度 卒園式
3月16日(金) ~ 3月29日(木)	春期スクーリング、預り保育
3月20日(火)	幼稚園 3学期 終業式
3月25日(日)	近大姫路大学看護学部棟竣工祝賀会

(2) 平成18年度 事業の進捗状況

進捗状況の概要

平成18年度は、近大姫路大学看護学部看護学科の設置認可に向けて邁進し、さる平成18年11月30日に文部科学大臣より、近大姫路大学の設立認可を受けることができた。新校舎の建築についても、予定どおり平成19年2月28日に竣工引渡しを受け、3月25日には竣工祝賀会を執り行い、新校舎の見学会も合わせて取り行った。

新校舎は、鉄筋コンクリート造り、地上5階建、延面積8,300m²の建物となっている。開放感あふれるエントランスに学生・教員との交流が図れる外光をとりいれたコラボレーションワークスペース、そして看護教育に必要な最新の施設・設備を備えている。ガラス張りの窓からの眺望は抜群で研究・勉学に励むにふさわしい校舎として最適である。また、設備の整った食堂なども配置し、学生の福利厚生の充実にも努めている。

一方、豊岡短期大学では、「こどもフェスタ」・公開講座などの地域交流会を行い、学外での体験を通じた教育に取り組んだ。

公開講座については、今年度は「マリンバリサイタル」を行い、多数の方が来学、好評を博した。パソコン講座についても、定員を上回る申し込みがあり、熱心な受講生により、活気あふれる公開講座を開講することができた。

通信教育部では、スクーリング時に受講生対象としたアンケートを行い、年次計画により改善に努めており、今年度は教室の椅子を見直しをした。

幼稚園については、保育環境の充実を図るために、保育室テラスの人工芝の貼替、グランド遊具の補充等を行い、スクールバスに乗って出かける四季折々の園外保育は、ほぼ計画どおり実施した。

また、豊岡短期大学では、通学部と通信教育部の生活情報・福祉学科の学生募集の停止を平成18年4月に届け出た。この生活情報・福祉学科は、通学課程は昭和42年度、通信教育課程は昭和44年度の開学であり、40年あまり続いた家政（生活）系の短大教育は、残念ながら幕を閉じることとなった。

(3) 今後の展望

今後の展望としては、学園の建学の精神と教育方針を基本に新たな学部増設を含む学園整備を計画している。

① 第三者評価の実施

平成19年度に、自己点検・自己評価書を作成し、(財)短期大学基準協会による外部評価をうける予定である。自己点検・自己評価を真摯に行い、教育環境の改善とよりよい学校作りに取り組みたい。

② 教育環境の充実

豊岡短期大学における教学と事務部門におけるコンピュータの整備を行うとともに、個人情報保護などの観点から、セキュリティシステムの導入をはかり、教育環境の充実を予定している。

また、短期大学では、新入生歓迎会・大学祭等の計画を予定し、学費免除などの奨学事業を引き続き計画している。

幼稚園では、早期の漢字教育や外国人講師による英語教育を行い、また四季を通じて、園外保育を重視し、情操教育に配慮した幼稚園教育を行うよう計画している。

③ 大学施設の開放と地域への貢献

大学施設の開放と地域社会への貢献を目的として、講演活動、公開講座の開講等を計画し、地域との連携活動や地域への提言活動に取り組む。

近大姫路大学は、開学年度のため具体的な計画の策定が、やや遅れているものの、豊岡短大では、すでに平成19年度の公開講座については、音楽リサイタルとパソコン講座を予定している。音楽リサイタルについては、ヴァイオリン等の弦楽器のリサイタルを計画中である。

また、豊岡短期大学では前年度に地域で好評を博した「こどもフェスタ」などの地域交流会を継続的に行い、学外での実体験を通じた教育を行う予定である。

④ 事務システムの効率化と省力化

多様化する学生ニーズと事務の効率化を図るべく、オープンソフトを利用した新システム稼動に向け、個々のスキルの向上による事務の省力化に向けて取り組む。

⑤ 近大姫路大学の学部の増設について、その時期、構想等について取り組む。

⑥ その他

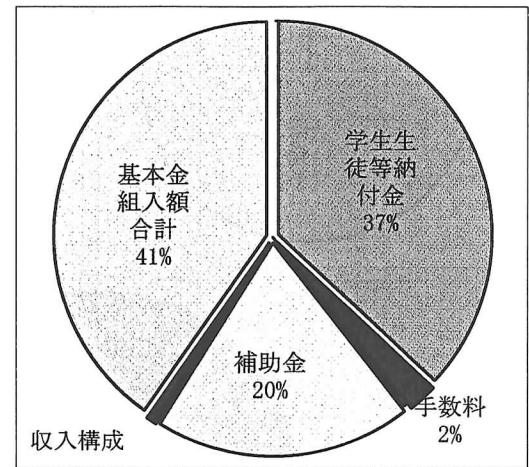
- ・ 教育研究活動を円滑に行うことを目的に、電気設備の修繕等を計画している。
ホームページの見直しを行い、時代のニーズにあったホームページにするため、全面的なリニューアルを検討する。
- ・ 今年度近大姫路大学の校舎建築工事によってその存在が明らかになった産廃土の処分費をめぐる訴訟問題は、裁判所の和解勧告も含めなるべく早期に解決を図る方針で取り組みたい。

(2) 消費収支計算書 【総括】

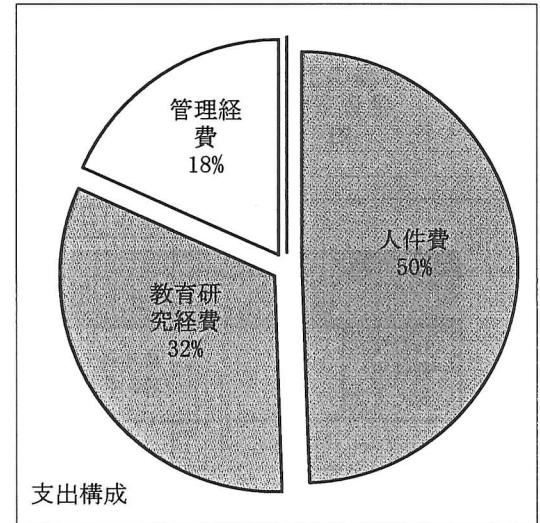
平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位：百万円)

収入の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	18年度 (決算)
学生生徒等納付金	1,592	1,378	1,417
手数料	111	111	94
寄付金	6	6	6
補助金	109	738	750
資産運用収入	4	1	4
事業収入	7	5	5
雑収入	9	6	15
帰属収入合計	1,838	2,243	2,291
基本金組入額合計	△900	△2,490	△1,554
消費収入の部合計	938	△246	737



支出の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	18年度 (決算)
人件費	608	681	668
教育研究経費	343	475	437
管理経費	168	229	249
資産処分差額	3	0	0
予備費	0	20	0
消費支出の部合計	1,122	1,405	1,354
当年度消費支出超過額	△184	△1,652	△617



※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

消費収支とは

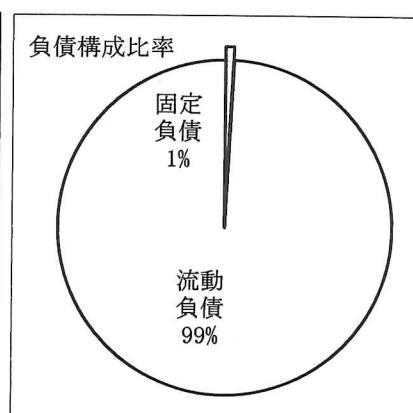
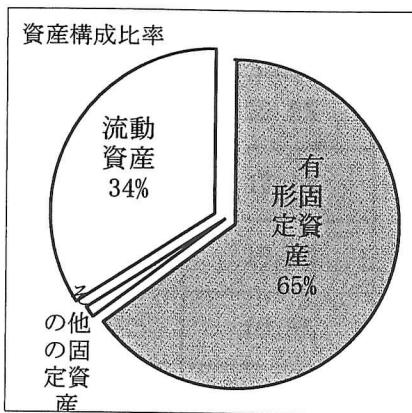
毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び収支の均衡の状態を明らかにするためのものである。
つまり、1年間の事業成績を判断するもので、企業会計における損益計算書に近いものといわれている。

今年度の消費収支計算書は
昨年度に引き続き、近大姫路大学の開設準備に伴う資産の基本金組入が大きく、単年度においては、支出超過となっている。
しかし、前年度までの繰越収入超過額があり、累積的には、問題はないと考えている。

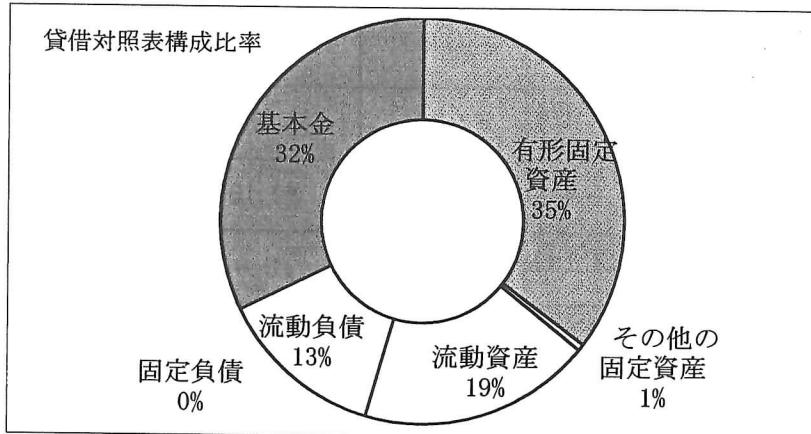
(3) 貸借対照表 【総括】
平成19年3月31日

(単位：百万円)

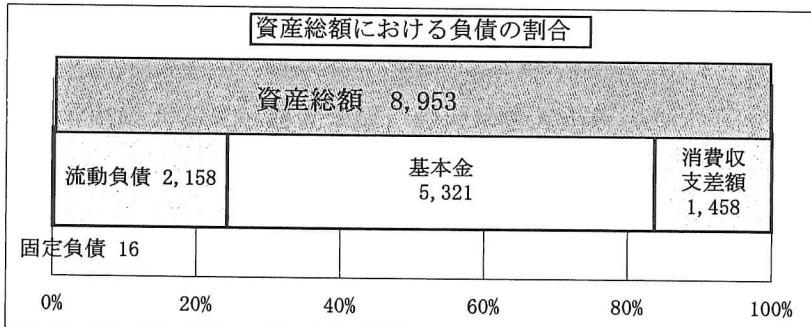
資産の部	
科 目	本年度末
固定資産	5,899
有形固定資産	5,798
その他の固定資産	101
流動資産	3,054
合 計	8,953



負債の部	
科 目	本年度末
固定負債	16
流動負債	2,158
合 計	2,174



基本金の部	
科 目	本年度末
基本金	5,321



※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計等数値が一致しない場合もある。

① 貸借対照表とは
毎会計年度内における総資産及び総資金の価額とその内訳を明らかにするものであり、資産の状態とその資産はに基づいているかを表している。
つまり、財政状態を表すものである。

② 財政状態
本学は借入金がなく、無借金経営であり、また、現金・預金等流動資産を多く保有している。
学園の更なる発展のため、大学設置など積極的な学校経営を展開している。